

令和2年度1月定例麻績村教育委員会 会議概要

開催日時 令和3年1月8日(金) 午後1時30分～

開催場所 麻績村地域交流センター 第3・4研修室

出席委員	職務代理 委員	市ノ瀬淳一 宮川裕満	委員	小山正文
欠席委員	委員	宮下温子		
出席職員	麻績保育園長 筑北中学校長 教育次長	臼井孝夫 中原 敏 塚原優仁	麻績小学校長 教育長 主 事	佐々木英明 飯森 力 佐藤克哉

1 開会

2 教育長挨拶

3 報告事項

①教育長報告

- ・近況報告

質疑内容

⇒特になし

②保育園長報告

- ・近況報告

質疑内容

⇒特になし。

③小学校長報告

- ・近況報告

質疑内容

小山委員:小学校の方で講師の欠員があるというお話でしたが、欠員のままでも何とかなるのでしょうか。

佐々木校長: 村費ですので本校の現状の中では個別に配慮したいお子さんにT Tの形で入ってということで居るに越したことは無いという状態ですが、2学期末の状態から0になっているので何とか回しているという状態です。4月からは来入学児に特別支援のお子さんも入ってきますので、どうしても臨時職員を確保しないと回らないなと思っています。

小山委員: 3月で退職になる先生方もいらっしゃるかと思いますが、そういう先生は次が決まってしまっているということでしょうか。

佐々木校長: 当然県費の方で入っていく方が優先されていってしまいますので、それとは別に探していかなければいけないので、本当にいないという現状です。

小山委員: 今いる先生方にし寄せがいつてしまうということですね。

佐々木校長: 今は学校が落ち着いているので何とか回っていますけれども、特に年度当初の環境が変わる時は不安定になるのでスタートのところは手厚くスタートしていきたいと思っています。北部で通ってきてくださる方とか条件的に地理的な部分が大きいと思っています。せつかく予算をいただいて村費を厚く充てていただいている分、それを充てられないことは本当に残念だと思っていますがとにかく探し続けるしかないと思っています。

小山委員: 特に地理的な問題は過去に何人もの校長先生が言っていましたけれども、松本とかだとすごく自由が利くけれど山を越えてくるというのは大変ということですので、一番はこの谷の中にいけばいいんですが人口も少ない中でなかなか難しいと思います。

佐々木校長: 特に小学校免許となると持っている人がとても限られるのでより難しいなと思います。

市ノ瀬職務代理: 1月から3月あたりは特に厳しいと思います。来年度は少なくとも間に合うようにするなら校長会で講師の関係の担当校長がいると思いますので、話をしておいて県費が埋まっていったところで確保していくしかないと思います。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

市ノ瀬職務代理: 小学校の中学体験入学のようなものは3学期行うのでしょうか。

佐々木校長: 11月に1日のみ実施しております。本来であれば4日間の予定でしたが1日みの実施という形になっております。3学期は行いません。

中原校長: 3学期に保護者説明会で学用品の販売を行います。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

宮川委員: 小学校のスキー教室で4・5年と3・6年生の組み合わせにしたのは何か意味があるのでしょうか。

佐々木校長: バスの関係です。ちょうど人数が同じくらいになるようにしました。

宮川委員: それがこの学年分けだとバランスが良いということですか。

佐々木校長: 今までは3・4年生と5・6年生だったんですが、3・4年生は人数が少ないので3・4年生を分けて5・6年生とセットにしました。急遽予定を変更してコロナ対策を優先しました。

④中学校長報告

- ・近況報告

質疑内容

⇒特になし。

4 協議事項

⇒特になし。

5 その他

①各委員から

小山委員: 思い返すと去年の今頃教育長の挨拶ではコロナが出てきたけれどという遠い存在だったように感じますが、それから急激に年末年始で拡大して第3波という形になってきています。教育長の冒頭の挨拶にあったように、いつ我々の周りや児童生徒、保護者が感染しても不思議ではない状態ですから、それに対していつも先生方はやられていると思いますが、感染した場合にはどうするかということ考えていただきたいと思います。政府の方針の中では大学入試や高校入試は従来の計画通りということですが、これに関してもどうなるか分かりませんので子ども達の準備や精神的な部分を含めてケアをしていただきたいと思います。

教育長: その他にいかがでしょうか。コロナの話が出ましたので昨日村で行われた対策会議の内容をお繋ぎしたいと思います。松本の方で40代の教育関係者が感染したということで重く受け止める中で徹底をしていかなければいけないということをお願いしたいと思います。そして毎回言われていることは同じで人との接触を減らすということで、残念ですが新年会や飲食を伴う会合の自粛をして欲しいと思います。会話をする時のマスクの着用や、十分な間隔を取ることが大切だということでございます。会合等も大変ですが現在家庭の中から感染が出ていることが多くなってきているということで、これからも学校では子どもを通して啓発をしていただく、また村では広報無線等で啓発をしていくという形になっていくと思います。準じて地域間の往来を出来る限り少なくするという出張等についても不要不急をしっかりと検討していただくようお願いいたします。またこれから県外へ行く場合が家庭では増えるかと思えます。大学入試や就職で行くということが増えていくと思えます。職員や保護者それぞれであるかと思えますが、県外に行った場合には帰ってきた時に最低でも1週間は様子を見て欲しいということでございます。昨日も話題に出ましたが現在麻績村では感染者が出ていません。そうなりますと皆さんの意識の中に『第1号にはなりたくない』という意識が強

くなくて少し具合が悪くても我慢して出てきてしまうということになると大変なことになりますので、是非とも熱があるとか体調が悪い時には必ず即受診していただいて我慢しないようにしていただくことが後々のためになるということです。悪くなってから受診したのでは蔓延する可能性がありますので対応をしっかりと欲しいと思います。『第1号になりたくない』という気持ちは村民全員、人それぞれ全員同じだと思いますのでよろしくお願いいたします。そして万が一感染した場合に周りの方々の思いやりや支え合いが非常に大切だと思います。誹謗中傷に繋がらないように注意をして欲しいと思います。他所の地域では誹謗中傷があり住むことが厳しくなっている人もいらっしゃるようです。人間として地域でやってきた人の中でそういうことがありますと大変です。そういうことが無いように、是非とも啓発をお願いしたいと思います。松本地域では松本市が感染警戒レベルを上げるようですが、それによってまた変わるかと思いますが出張等には十分に注意していただくことが大切かと思えます。県外出張や感染拡大している松本市などに行く時には私的なことでも必ず上司に一報入れていただく方が良いでしょう。今日の松本市の感染については教育関係ということだけで、どこのことか分かりませんので対処のしようがない気もします。実際に昨日の対策会議の中で職員や保育園、小学校、保育園で感染が出ればどこの小学校や中学校と名前がはっきり出るという風に言われていますので、それが良いか悪いかは分かりませんが対策を取るために必要かと思えます。麻績村の教育機関で感染が出たとなれば小学校か中学校しかありませんので何とも言いようがありませんが、それが重りになったではいけません。そういうことでよろしくお願いいたします。コロナについては今行っている対策の他に何をするという方策が無いので今までの部分をしっかりと再確認していただいて対策していただくようお願いいたします。

中原校長: 県外に出た場合には1週間ほど健康観察ということですが、これは自宅待機ということで出勤させないということですか。

教 育 長: 自宅待機で出勤はさせないようにお願いします。

中原校長: 学校職員も同様の対応ということですか。

教 育 長: 程度にもよりますが経過観察をとということで話が出ていますのでご理解をお願いしたいと思います。

中原校長: 村費県費関係なく学校職員も同様にということでしょうか。

教 育 長: 関係なくお願いしたいと思います。

中原校長: 県外という中で長野県より感染警戒レベルが低い地域も一律に県外に行ったら経過観察ということでしょうか。

教 育 長: 何とも言いようがないのですが、県外に行ってくれば状況は分かりませんが、村の方で想定しているのは入試の関係や就職の関係、冠婚葬祭の関係を想定しております。今職員の中からもそういった関係で東京に行く予定があるかもしれないという話が出ていますので、出来るだけ人と接しないようにということで話をしています。

中原校長:その場合も1週間観察ということですか。

教育長:そこから2、3日経てば体調変化も分かるかと思いますが強引に1週間としなくても良いと思います。どうしても仕事に出なければいけないということもあるかと思いますが、そういう場合は部屋を別に用意して仕事をするようにするかということまで理事者の方で気を遣って感染者を出さないように考えています。そこまでの心配は無いと思いますが考えれば考えるほどそうになってしまうかなと思います。

中原校長:松本圏域ということで話がありましたが松本市も大変なんですかね。県では小諸市だけレベル5としていますが、松本市がもし同じようにレベル5になった場合に学校ではしょっちゅう出張が入ってきますが出張に出しても良いのでしょうか。出来るだけ控えさせてもよろしいでしょうか。

教育長:そこが不要不急で出なければいけない会議なのかということが問題かと思います。

中原校長:どうしても各校1名と言われることがありますので、主催の方で中止としてくれればいいんですが、なかなかそんな感じではないので悩んでおります。

教育長:教育関係はなかなか中止とならないですね。私も現在開催予定ですということで通知が来るものもあります。松本圏域は出すとすれば松本市で出していくと思いますが、そこに朝日村と山形村は鉢盛中が一緒ということで追従していくと思います。今のところ北部では生坂村と筑北村で1名ずつ出ていますが落ち着いているので大丈夫かと思いますが、仕事などで勤務されている方は松本や長野が非常に多いですし、中には県外出張が多い方もいらっしゃるようですので何とも言えないです。高校入試が若干心配ですが、コロナの関係では試験は何とか出来るようになると思いますが、コロナにかかると子ども達が大変なので注意していただければと思います。

佐々木校長:感染拡大地域への往来を控える、往来したらというのは県外に出る場合というのは長野県でいう赤い部分、『往来を控えるように』という部分は1週間経過観察をということだと思いますが、黄色い部分の『慎重な行動を』となっている県は往来しても休まなくていいという判断で良いのでしょうか。県外への往来は全部経過観察となると県外に行けなくなってしまうということと、学校という現場の中で1週間休んで授業を抜けるということは実質不可能ですので、そこら辺の解釈は赤い部分への往来をした場合には経過観察をするということによろしいでしょうか。

教育長:基本的にはその解釈で良いと思います。出来るだけ接触や会話を控えて行ってきてもらって体調を1日か2日みて自己管理をしっかりしていただければと思います。その他いかがでしょうか。これから卒業式や入学式全部に影響が出そうで心配をしております。状況によっては去年と同じ方法でやるしかないという気もしております。

②事務局から

⇒特になし。

次回開催日程 2月1日（月）午前9時30分～

6 閉会